

# 第1回 あびこeモニターアンケート

## 「防災に関する市民意識について」集計結果

アンケート送信日	平成28年5月6日（金曜）
実施期間	平成28年5月6日（金曜）から平成28年5月19日（木曜）
登録者数	218名
回答者数	188名
回答率	86.2%

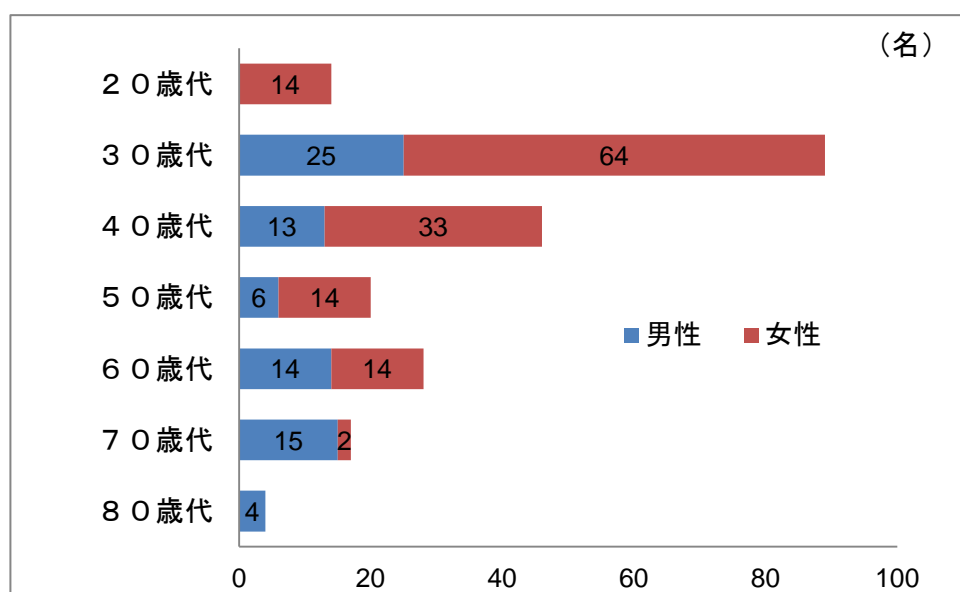
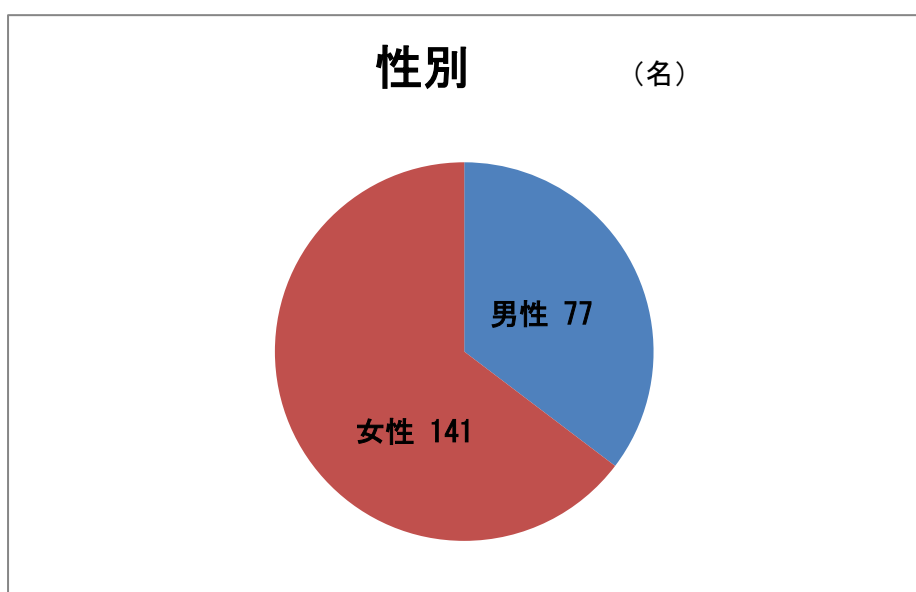
### ＜実施の目的＞

熊本地震が発生し多くの被害が起きたことから、地震災害に対する関心が高まっています。

災害に備えた様々な取り組みを実施するうえで、「防災に関する市民意識について」アンケートを実施します。

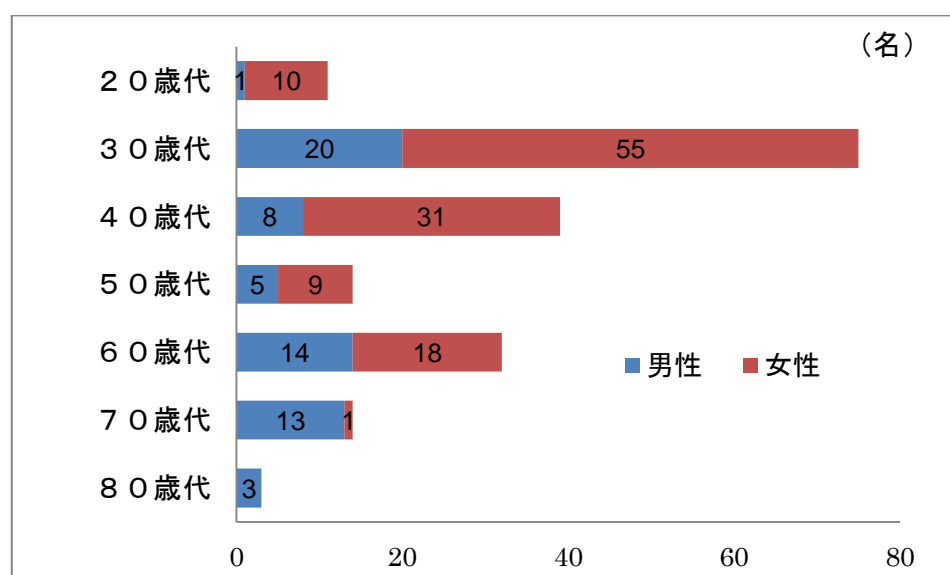
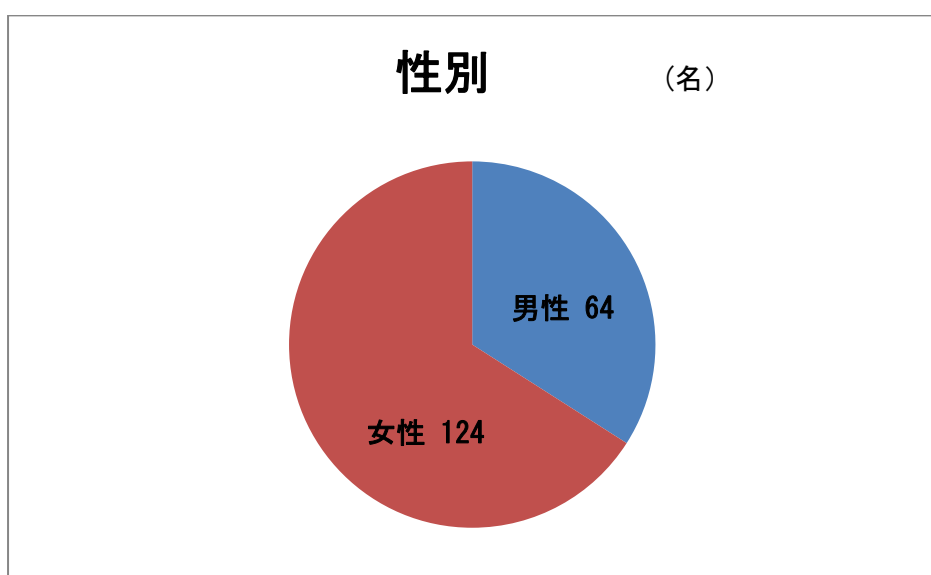
### ＜あびこeモニターアンケート登録者の内訳＞

平成28年5月6日現在



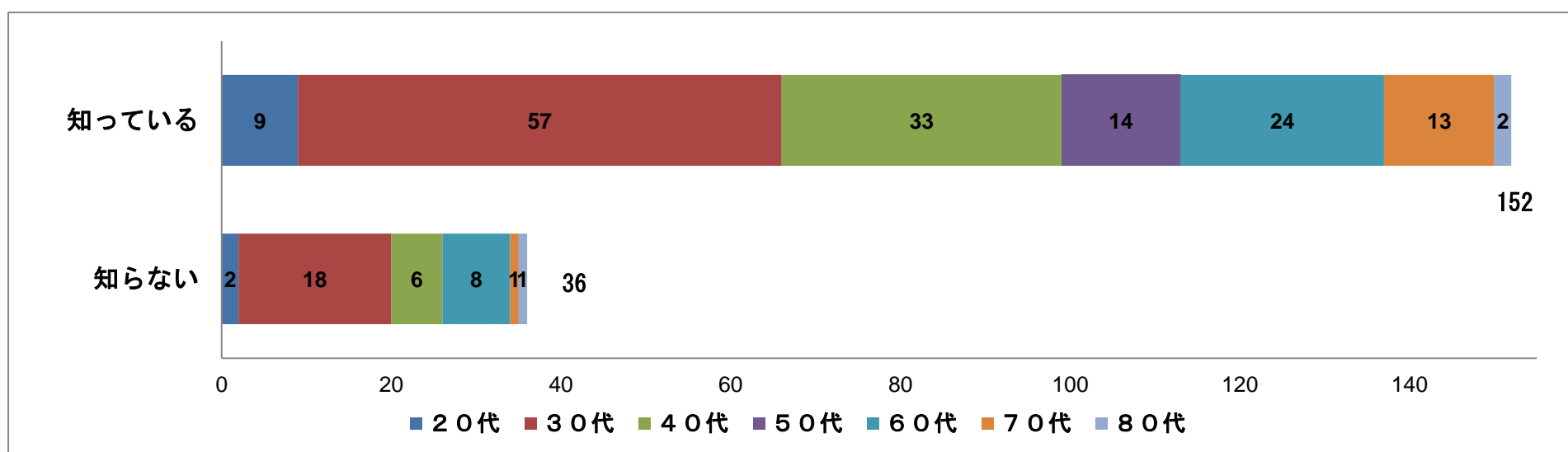
### ＜アンケート回答者の内訳＞

平成28年5月19日現在



## 問1 最寄りの避難所、避難場所を知っていますか？

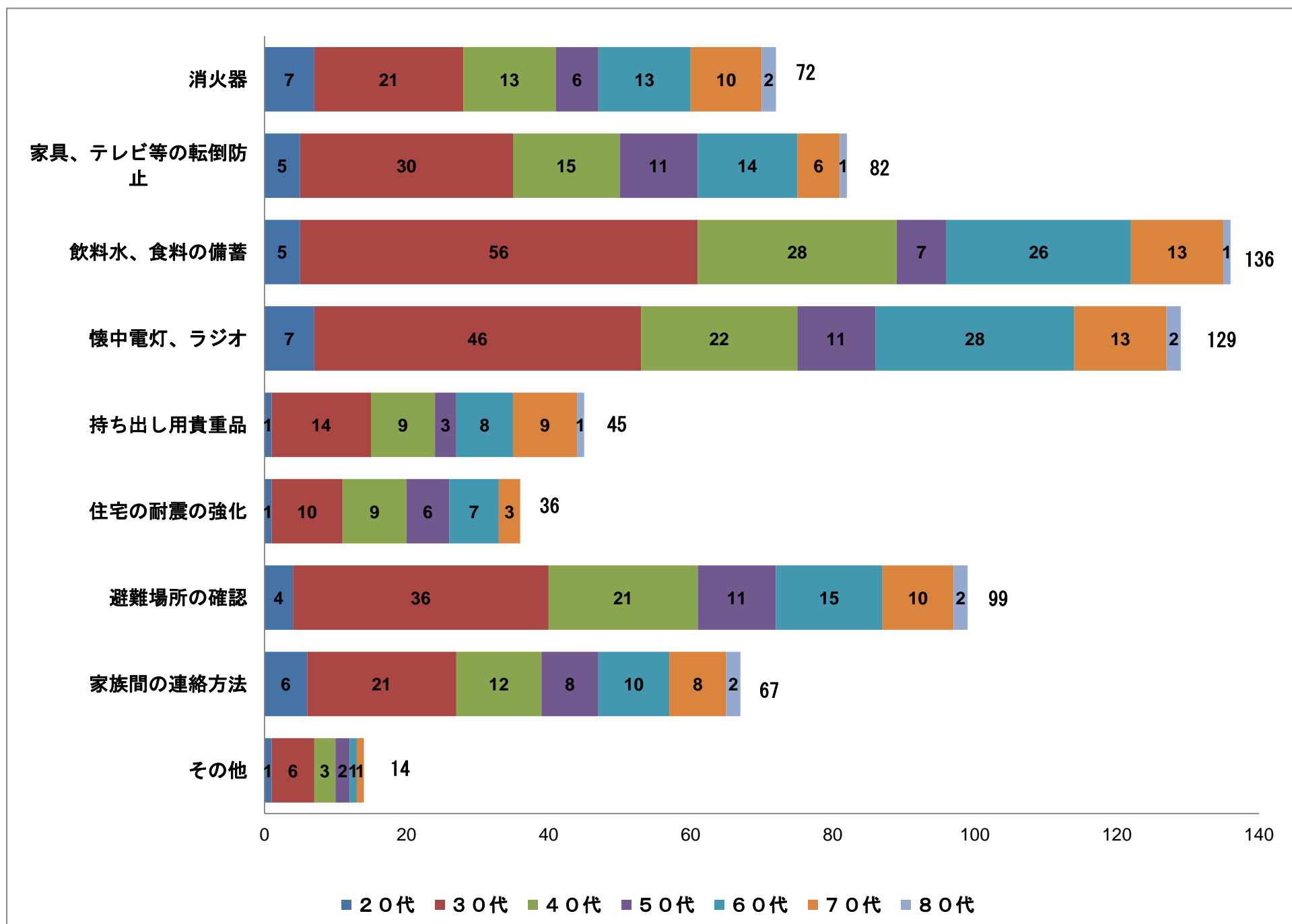
(名)



約8割の方から知っていると回答をいただいております。  
避難所、避難場所までの経路についても検討していただくようお願いいたします。

## 問2 災害に備えて、家庭で何か対策や準備をしていますか？（複数選択可）

(名)



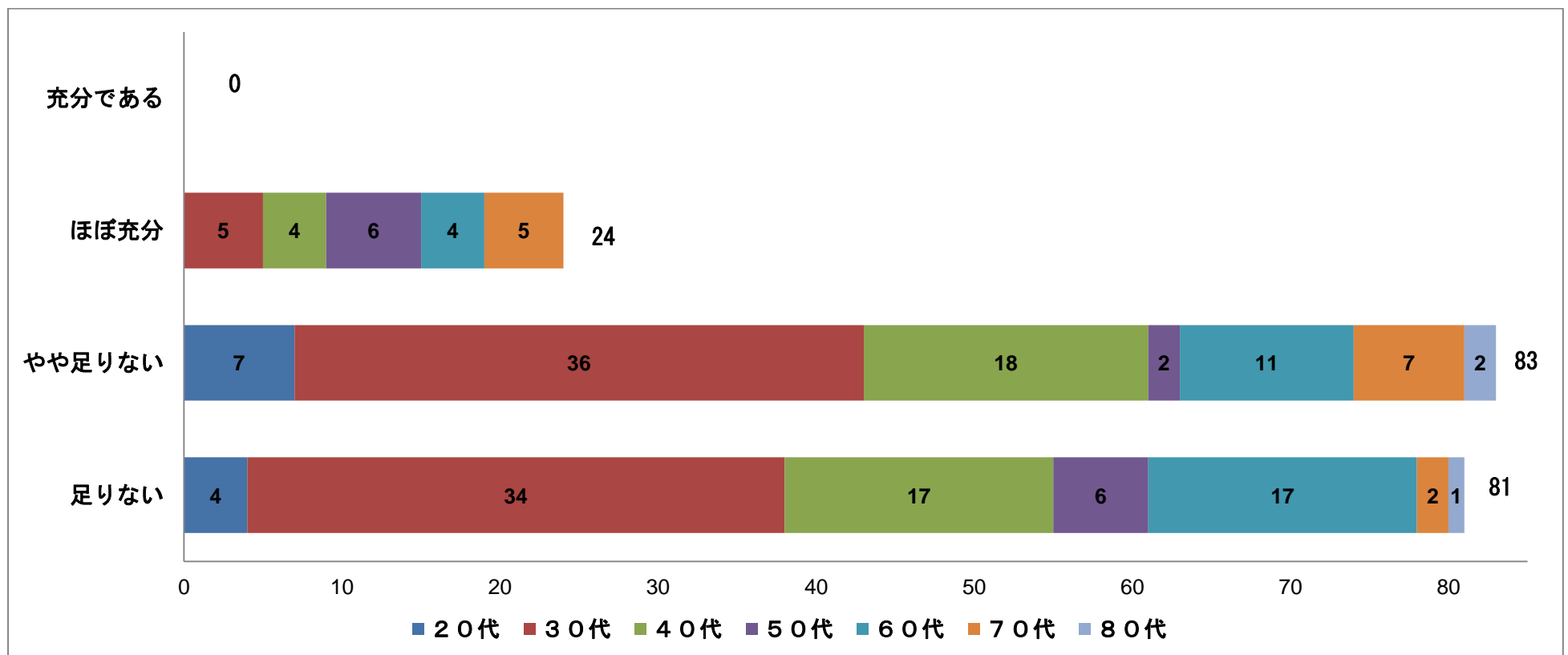
<その他記述欄>

特になし
携帯電話が使えないときの為に、知り合いなどの連絡先をメモし鞆に常に入れている。
携帯トイレ
何もしてない
緊急簡易トイレ
家族で共通のアプリを登録、使用しています。特に先日起きた熊本地震では、LINEが一般電話にも開放されたのをニュースで知りました。その他ツイッターなど SNS を含め、災害時に使用できる連絡手段を確認しています。
ガソリンが半分になったら早めの給油
被災地から離れた実家とかに連絡をする事で連絡が取れるように工夫する
何もしていない。
特にしていない。
常持ち出し袋の用意
簡易トイレ
近所の公衆電話の場所。外出先で被災した場合の対処法。(水、食べ物の確保、トイレの場所、コンビニの場所、電話の場所など)
一戸建てからマンションに引っ越す予定

日頃からの準備が、災害時には重要になります。  
引き続き、家庭での備蓄、対策に取り組んでくださるようお願いします。

問3 家庭の中での災害に対する備えは充分だと思いますか？

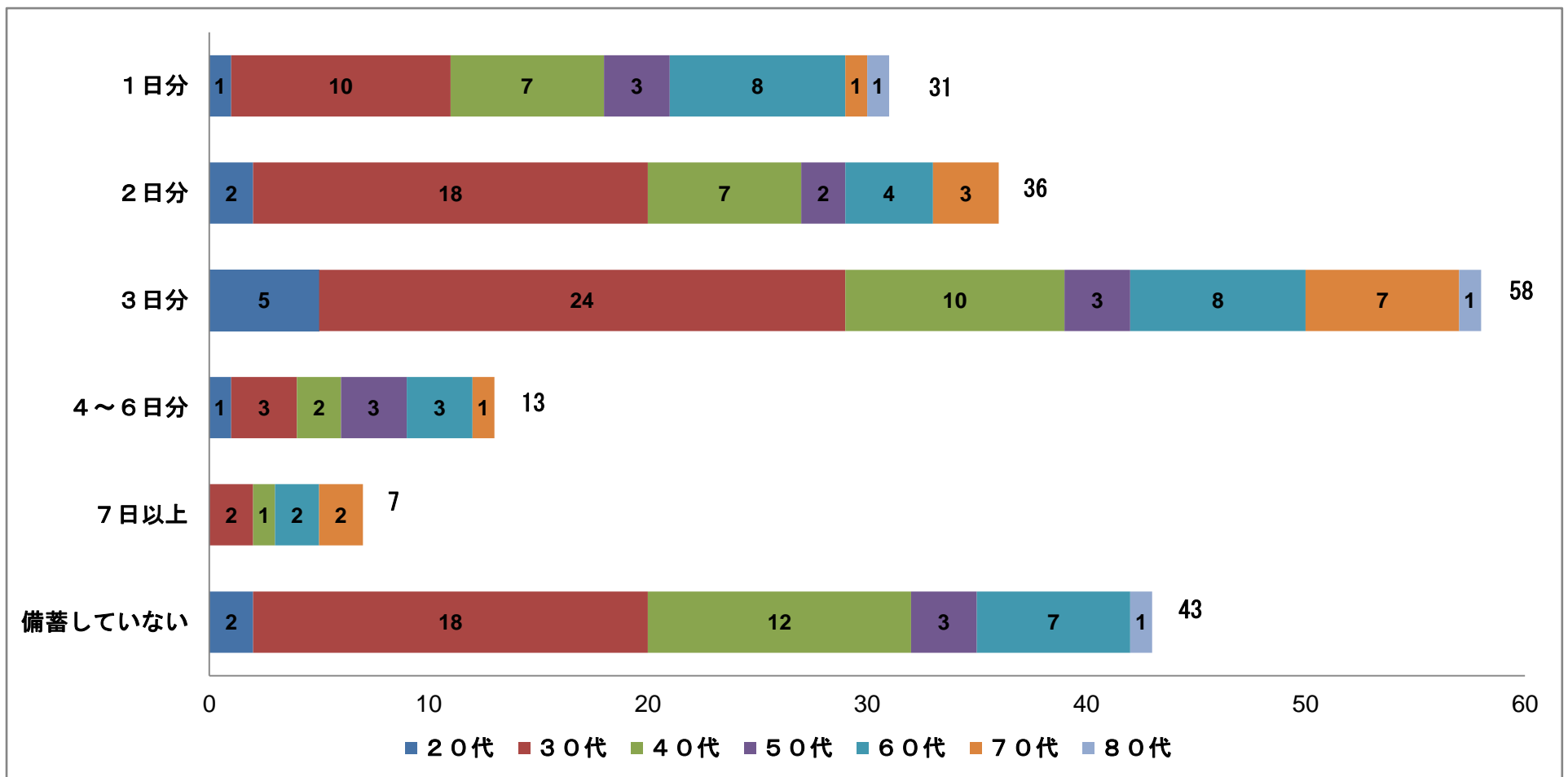
(名)



備蓄について、足りていないとの意見が多数でした。  
ここまで備蓄すれば充分ということはありませんが、備蓄の重要性について周知に努めます。

#### 問4 自宅で備蓄している災害用食料は何日分ですか？

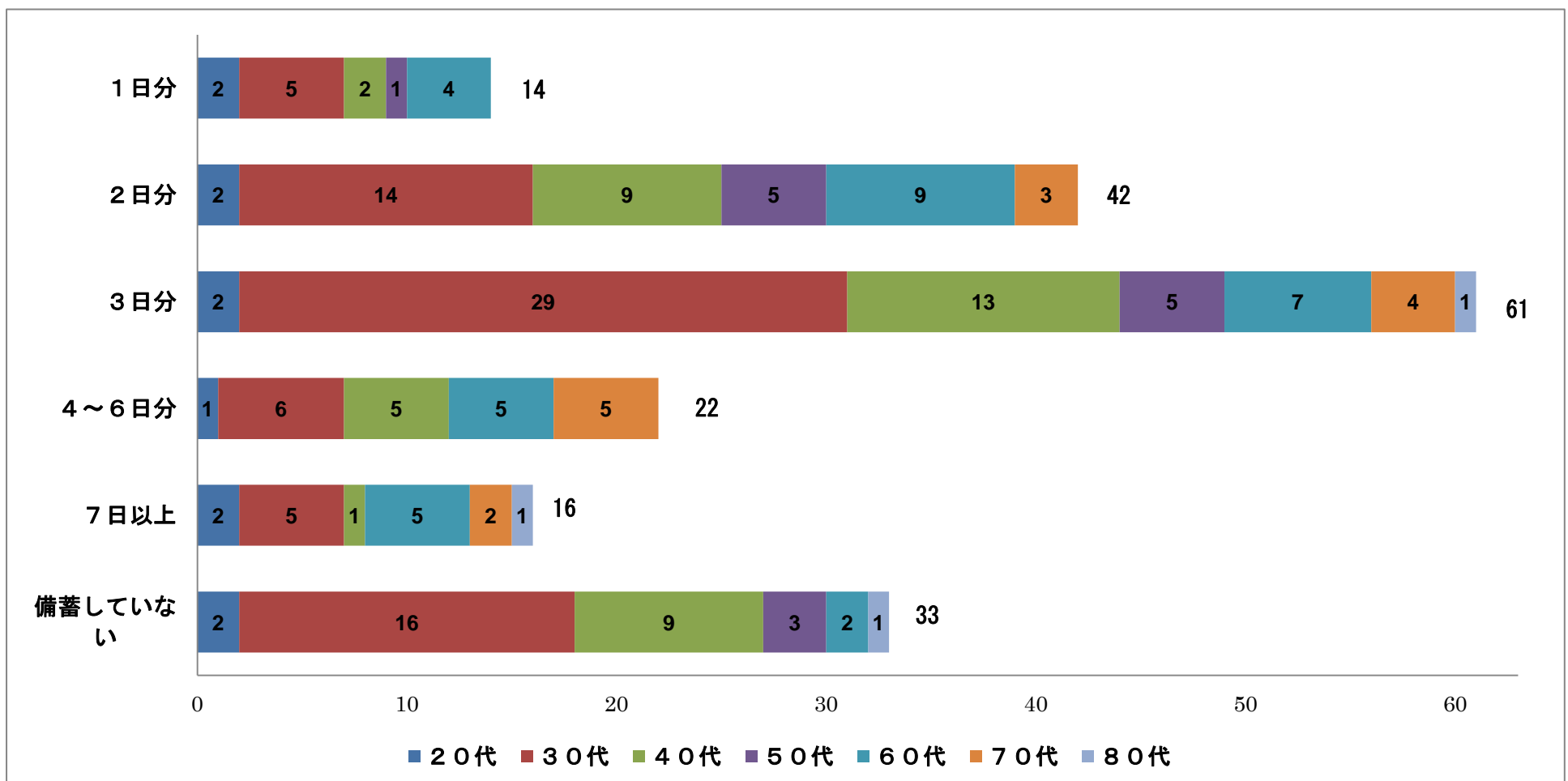
(名)



備蓄していない方や1～2日分と回答された方が多いようです。  
 家庭での備蓄は、一人当たり3日以上できれば7日分を目標に備蓄してください。

#### 問5 自宅で備蓄している飲料水は何日分ですか？

(名)

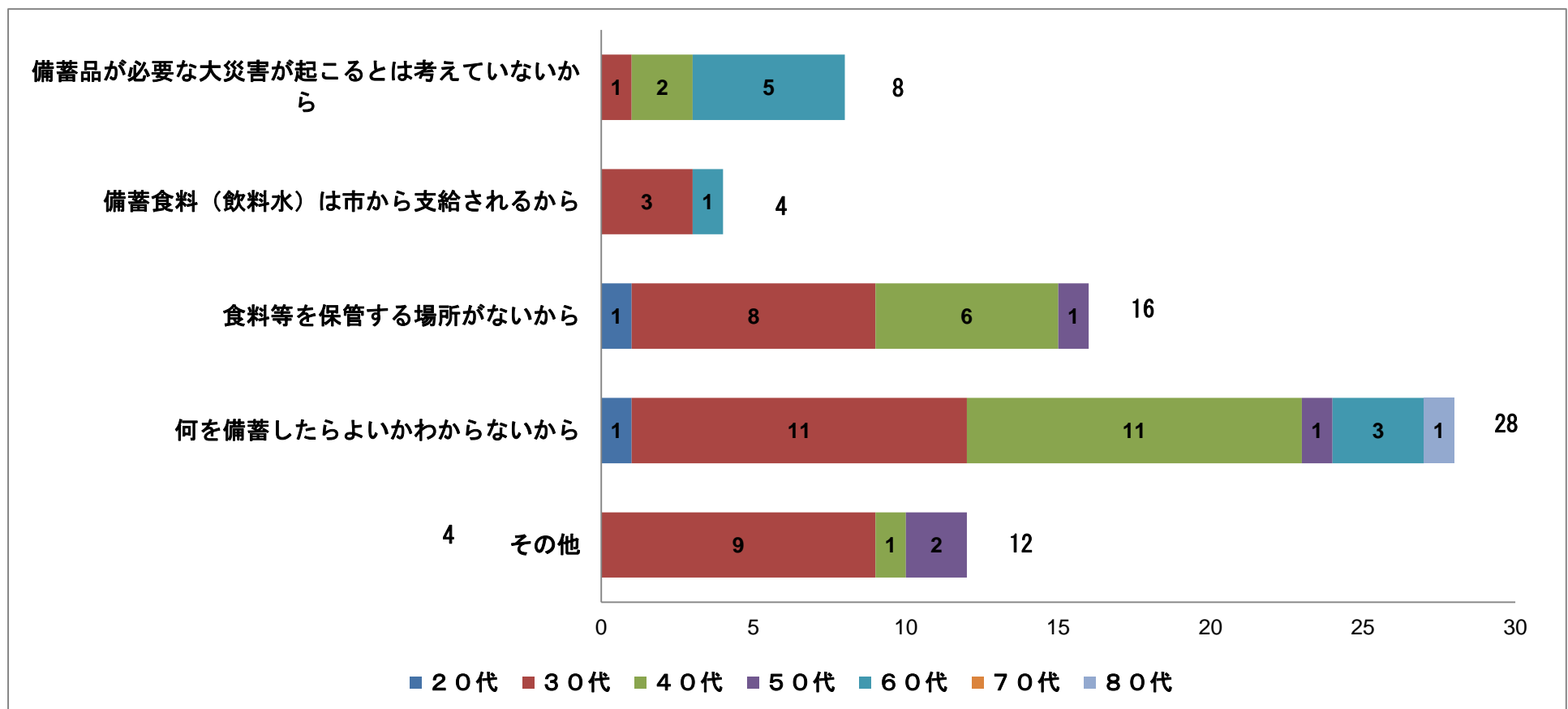


食料と比べ、3日以上備蓄している方が多いようです。  
 食糧とあわせての備蓄をお願いいたします。

問6 問4及び問5で備蓄していないと回答した方に伺います。

備蓄していない理由はなんですか？（複数選択可）

（名）



<その他記述欄>

期限切れで、新しく買い直していない。
賞味期限の管理が面倒
期限切れのものがある。
買い足していない。
備蓄しても賞味期限がすぐに来てしまい無駄になってしまうから。
貯蓄しようと思っているが、後回しになってしまいなかなか出来ずにいる。
備蓄していた物が古くなりそのままになっている。
3・11の後には備蓄有りましたが、賞味期限前に使用したあとは、なにもしてません。やらなくてはいけないと思って、そのまま今に至ってます。
やらなきゃと思いつつ、市販の防災セットは高いし、個々にかいそろえるのは面倒くさい
やろうやろうと思いつつまだやっていない。
以前は備蓄していたが、賞味期限が過ぎたので、そのまま放置している。
準備しておかなければ、と思いつつ、つい後回しになってしまっている。『大災害が起こるとは考えていない』わけではないが、危機感薄いのかも知れません。

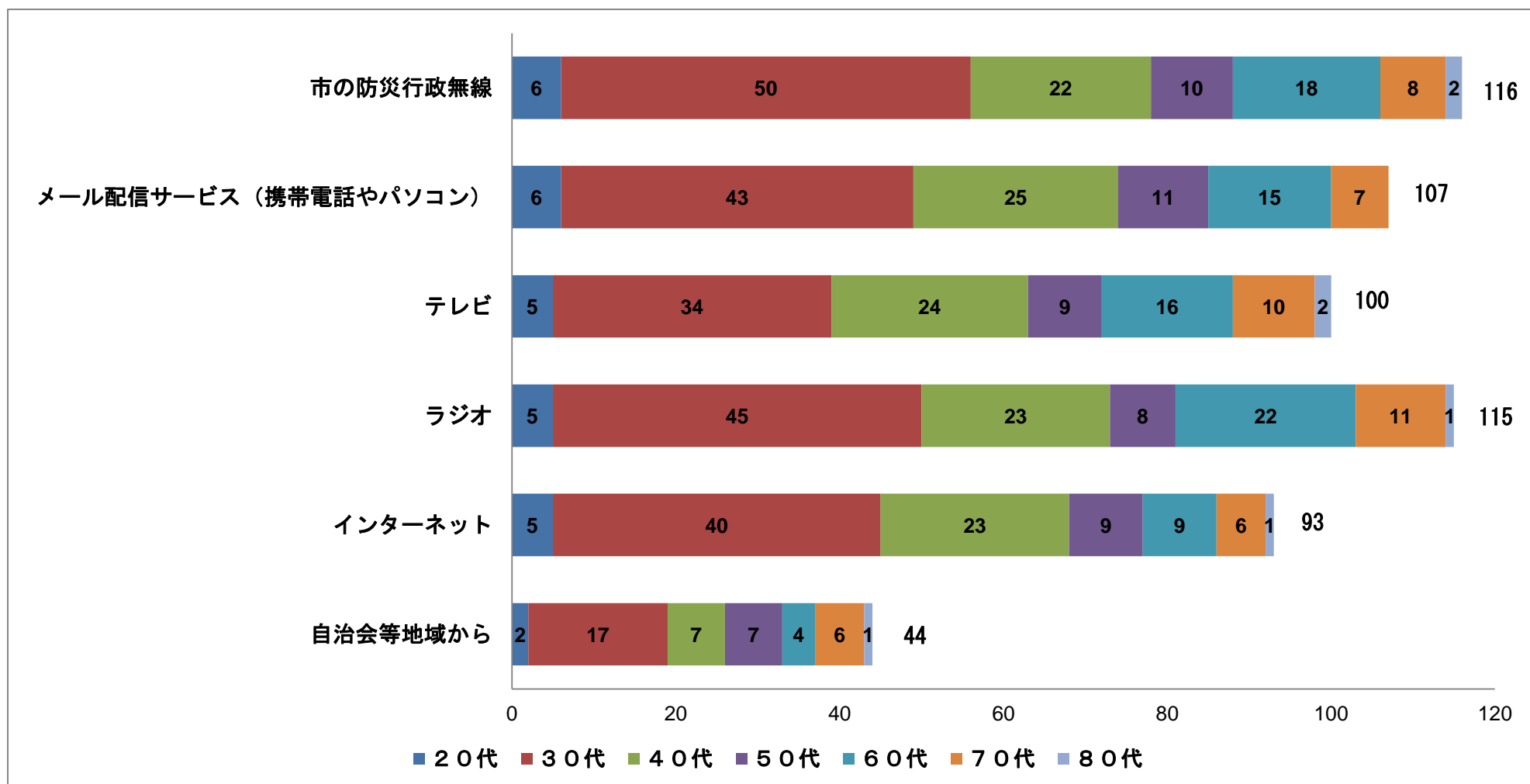
「何を準備したらよいかわからない」との回答が多数でした。災害への備えは、日頃からの準備が重要です。災害への備えは、市ホームページ等を参考にしてください。

【市ホームページ（災害への備え）】

<http://www.city.abiko.chiba.jp/anshin/bousai/saigaisonae/10kajo.html>

問7 災害時には、どの情報が頼りになると思いますか？（複数選択可）

(名)



災害時には、正確な情報の取得が重要です。

情報の取得には、複数の手段を使って正確な情報を取得してください。市では複数の情報伝達手段を用意していますのでご活用ください。

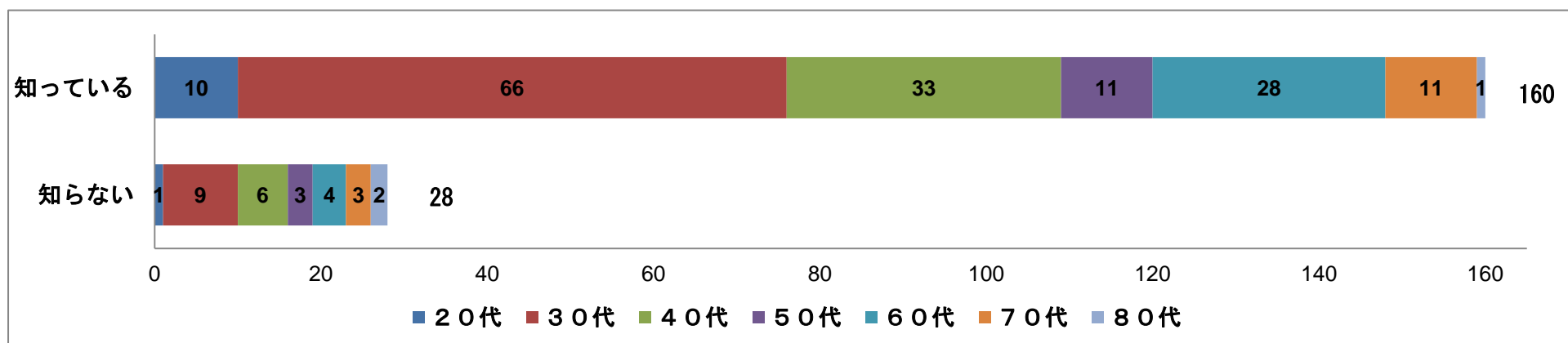
【市からの情報伝達手段】

防災行政無線・無料テレホン案内（0120031676）・メール配信サービス・Facebook  
Twitter・ホームページ

総合防災訓練においても、メール配信サービスのご案内を予定していますのでご活用ください。

問8 NTTや携帯電話会社等の「災害用伝言ダイヤルや掲示板」をご存知ですか？

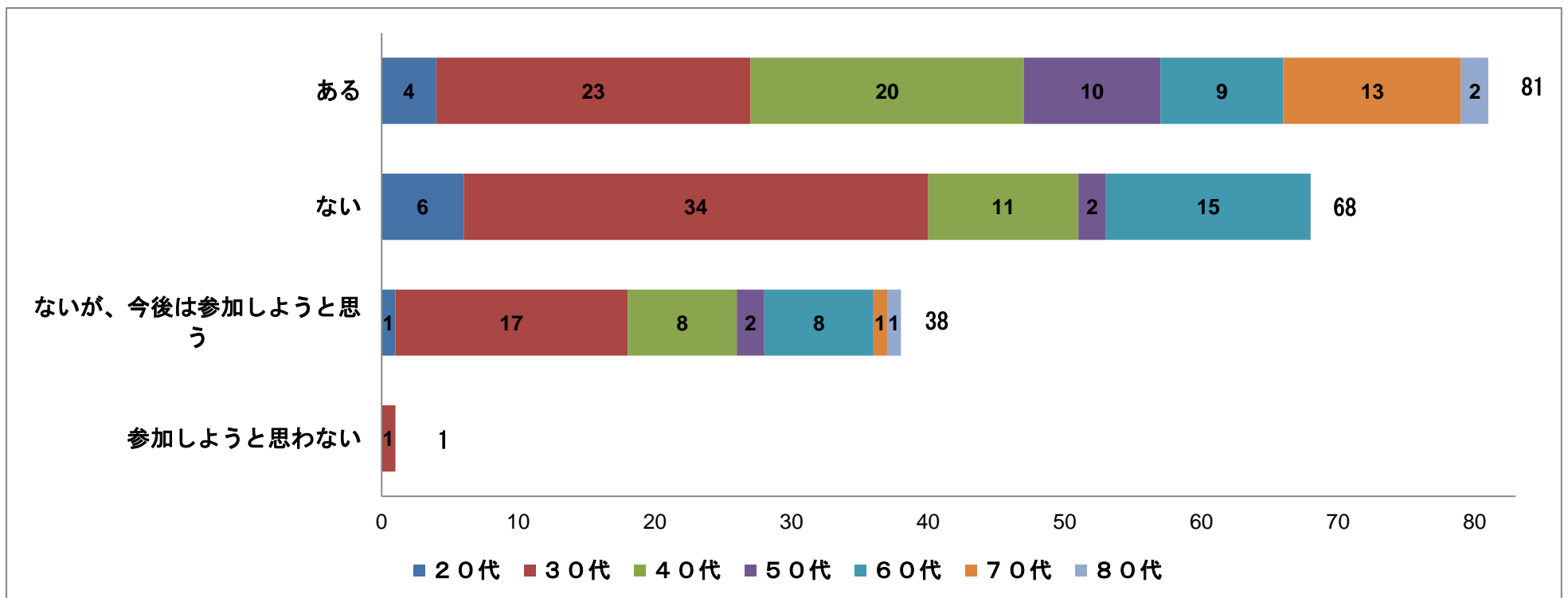
(名)



8割以上の方から「知っている」との回答をいただいています。

## 問9 自治体や自治会等が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

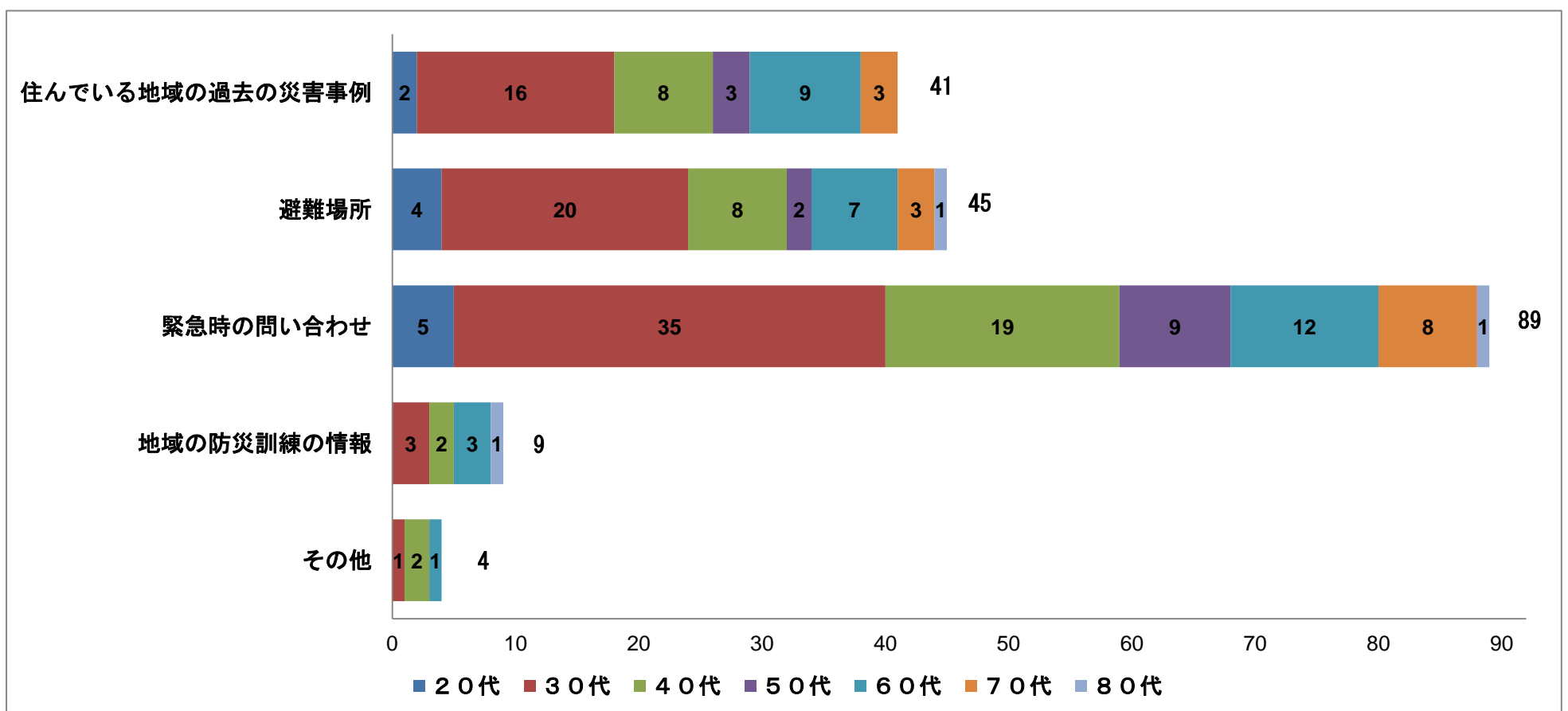
(名)



防災訓練の参加について「ある」との回答いただいた方は約4割でした。  
防災訓練は非常に有効ですので、市で開催する防災訓練や地域の防災訓練への参加をお願いします。

## 問10 日頃から災害に備えるために知っておきたい情報は何か？

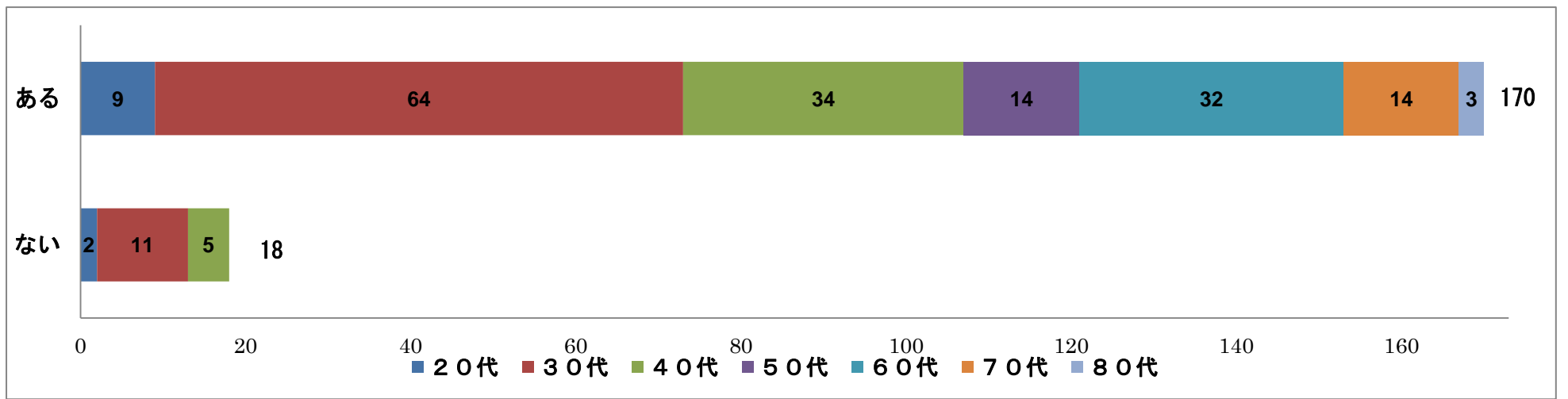
(名)



あびこ防災マップや洪水ハザードマップには災害に備える情報や災害履歴など様々な情報が記載されていますのでご活用ください。

問 1 1 市の発行するハザードマップをご覧になったことはありますか？

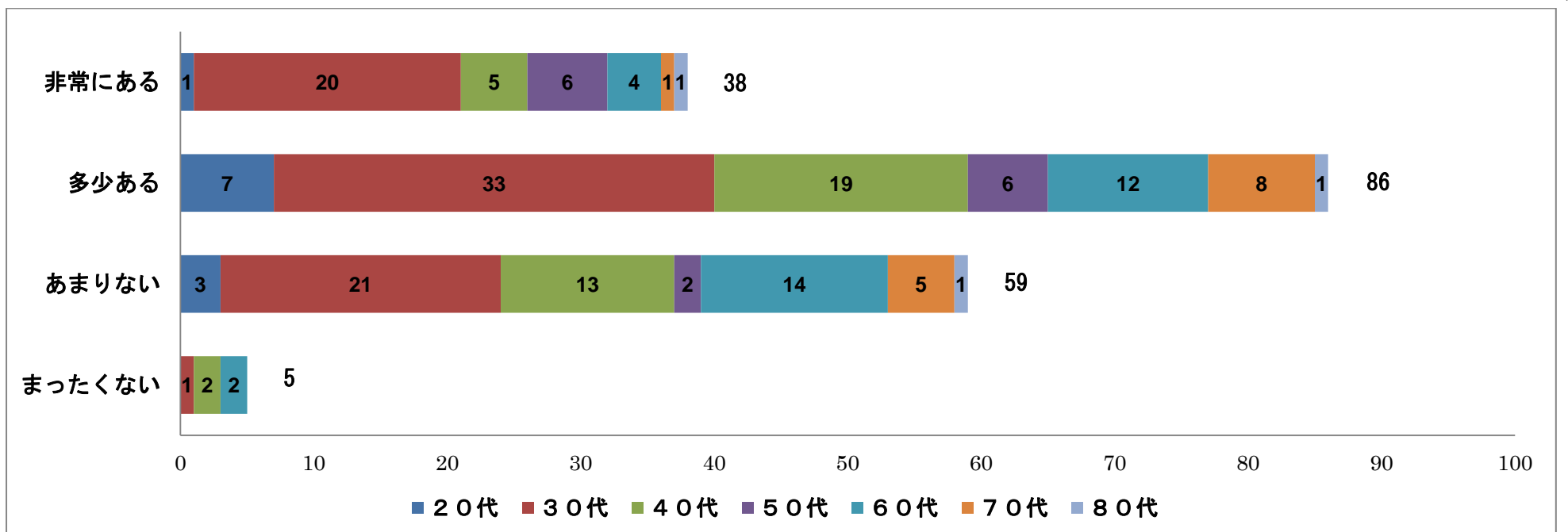
(名)



9割の方がハザードマップをご覧になられていると回答されています。

問 1 2 現在お住まいの地域で、災害の発生（地震や水害など）について不安に感じることはありますか？

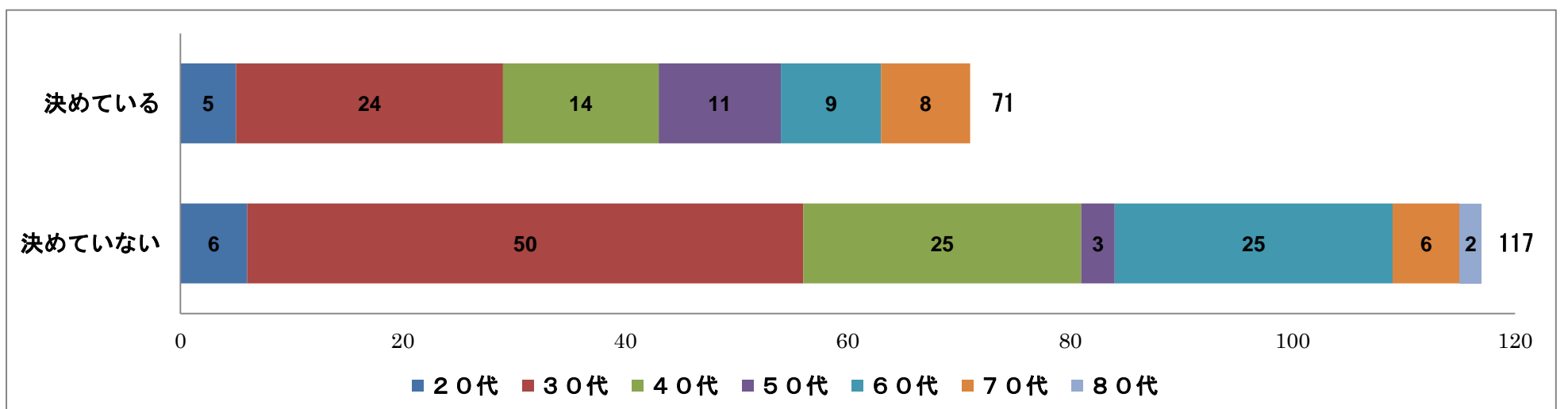
(名)



多くの方が災害の発生について「不安に感じている」と回答されています。

問 1 3 災害に遭った場合の安否確認方法を、家族間で決めていますか？

(名)

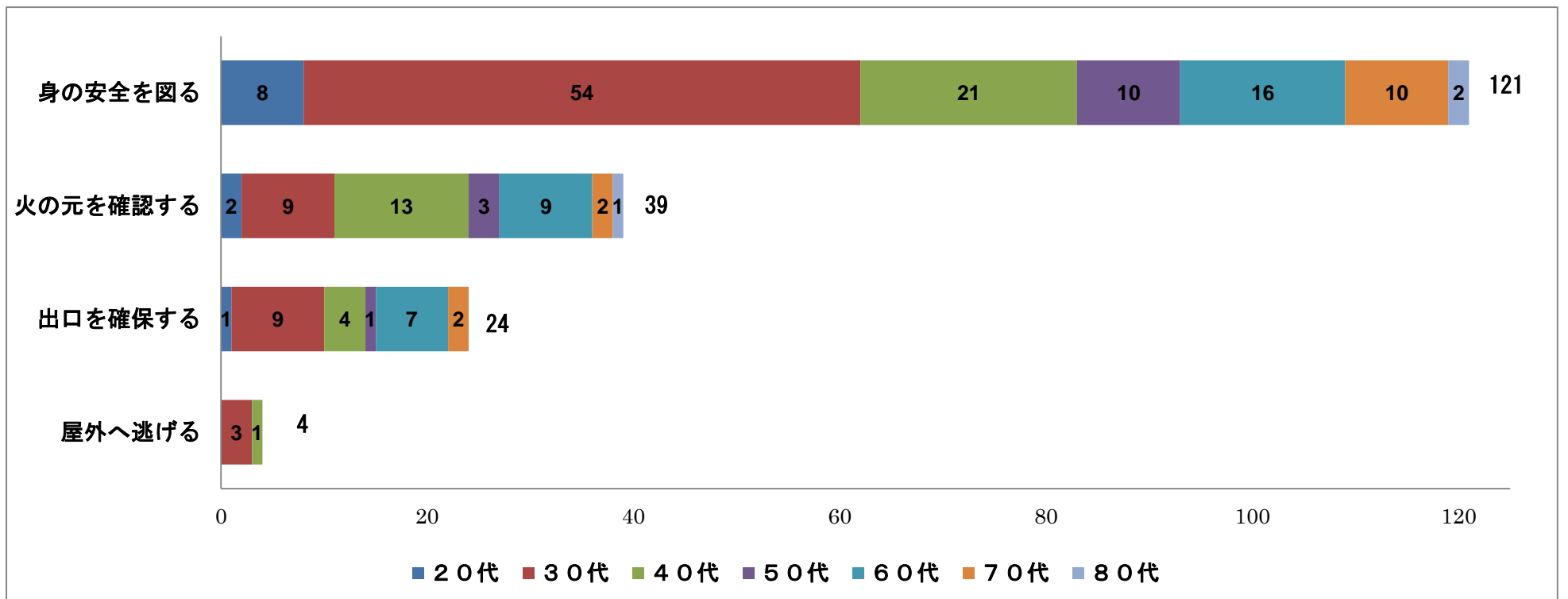


安否確認方法を「決めていない」と回答された方が多いようです。家族の中で安否確認の方法について、話し合い決めていただくようお願いします。



## 問 1 4 在宅中に地震が起きました！まず、あなたはどのようにしますか？

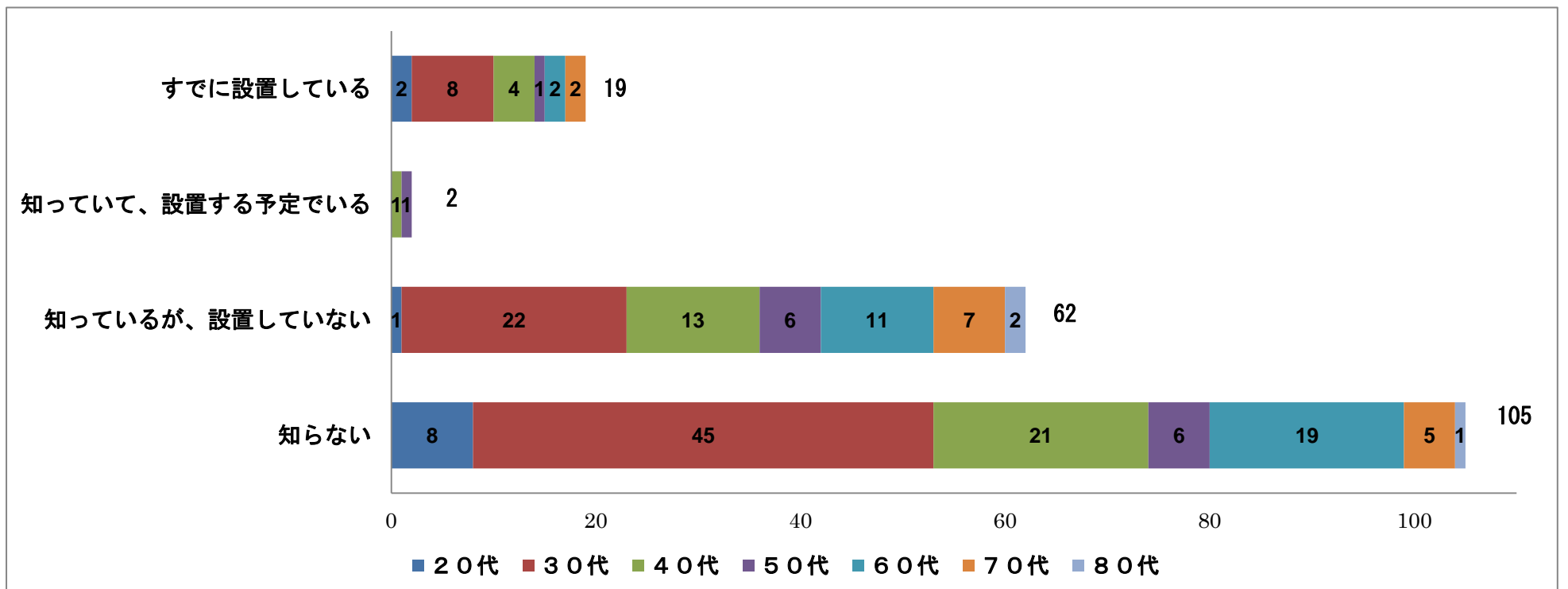
(名)



6割以上の方が身の安全を図るということをご認識いただいております。特に落下物や転倒してくる物などに気を付けていただければと思います。

## 問 1 5 地震が起きた時、自動で電気ブレーカーが切れる感震ブレーカーを知っていますか？

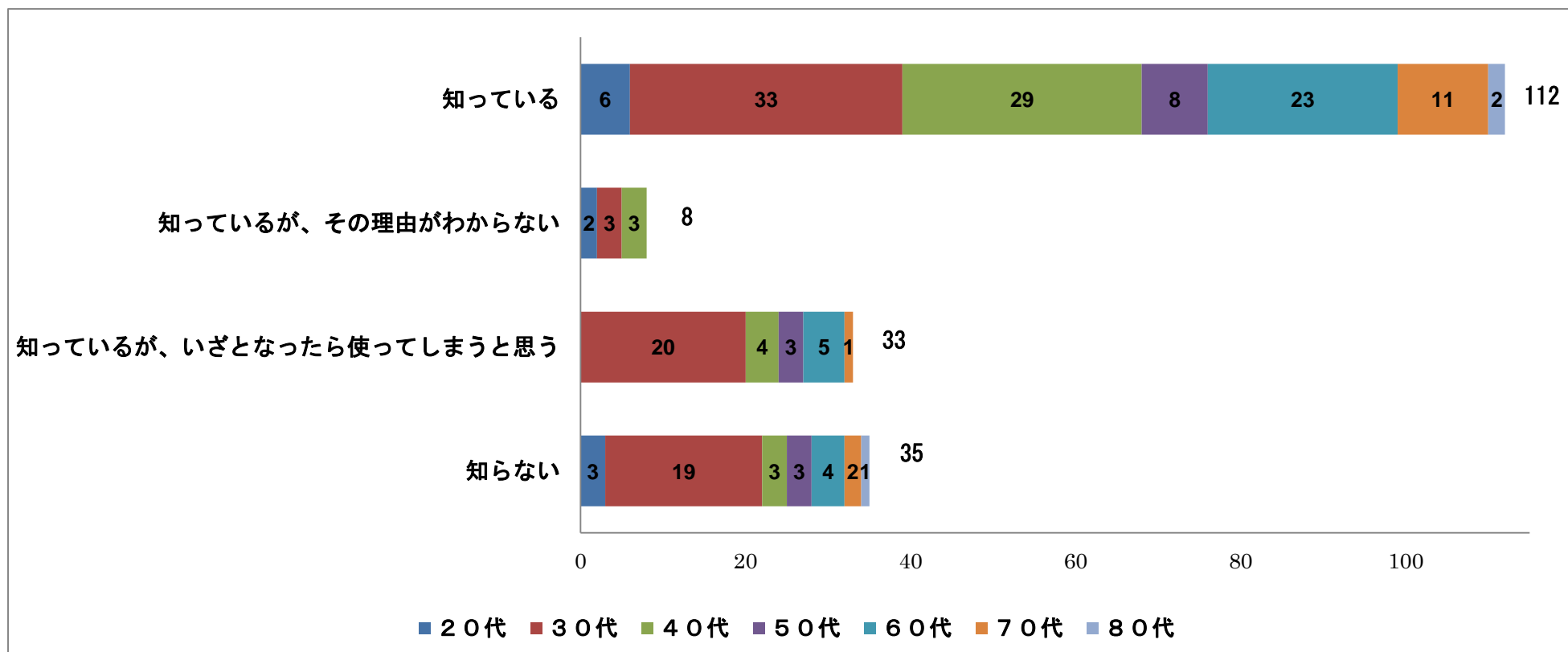
(名)



9割近くの方が感震ブレーカーを設置していないようです。市としましても市民の安心安全な暮らしを守るために広報活動をより積極的に実施し、推進していきたいと思っております。

## 問 16 避難する時、自動車は使わないということを知っていますか？

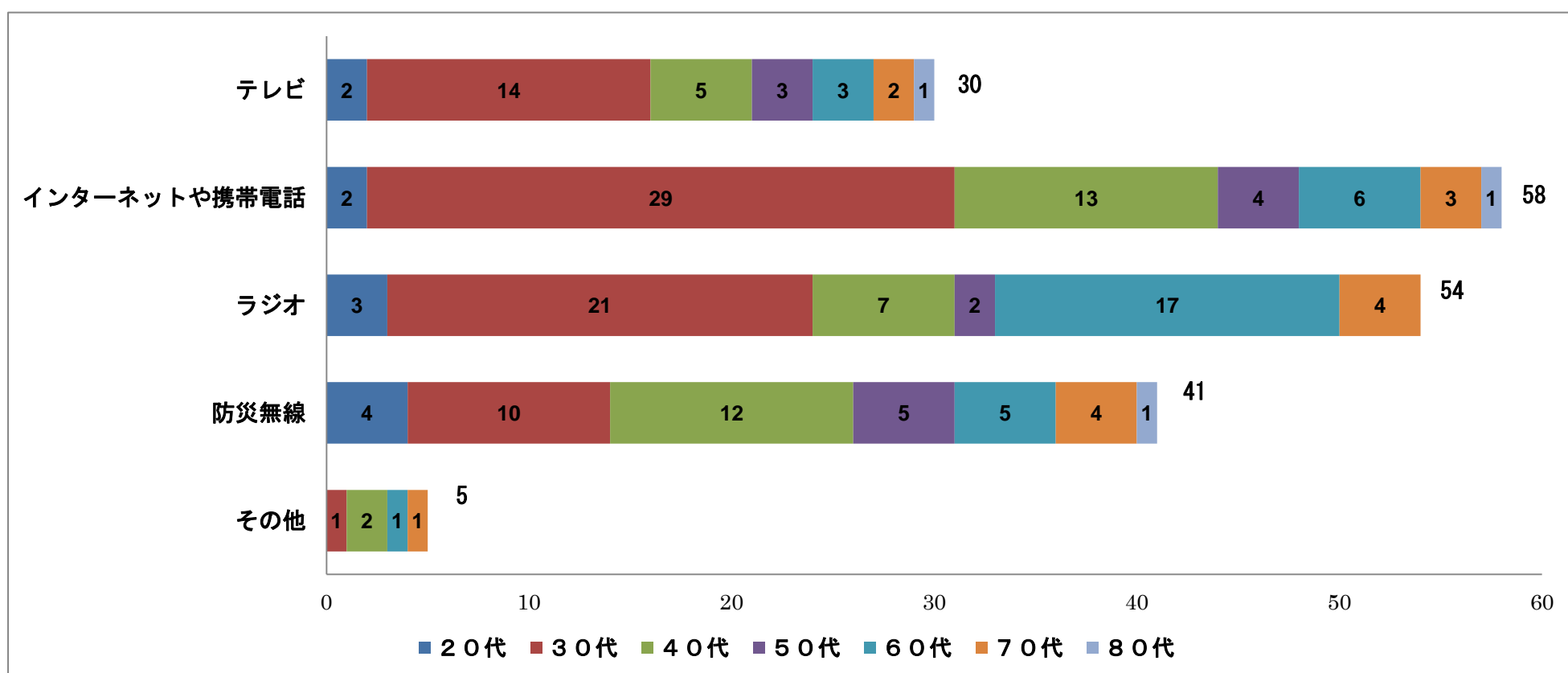
(名)



8割以上の方が避難をする時、自動車は使わないということを認識していただいております。しかし、3割を超える方は避難する時、自動車を使ってしまう可能性があるようです。災害発生時、避難場所にはたくさんの方々が集まってきます。混乱を避け、皆さんが避難できるようにご協力いただければと思います。

## 問 17 災害が発生した時、情報の入手はどのような方法が有効だと思いますか？

(名)



<その他の記述>

防災無線に頼りたいが、家の中では聞こえず、窓を開けても聞き取り出来ない。
他地域の場合はテレビなど
地域の方々の声
地域の自治会から
全てです

災害発生時は様々な情報が発信され、混乱を招くことが予想されます。必要な情報をより正確に入手するため、よくご確認いただければと思います。

また、情報収集をしている時は、今、ご自分に迫っている本当の危険を察知するアンテナの感度を鈍らせてしまう可能性があります。携帯電話などで情報収集や安否確認などを行う際は、まず、ご自身の身の安全を図ってから行っていただければと思います。

**【市民生活部 市民安全課】**

第1回eモニターアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

今回のアンケートでは、回答率が86%以上あり、市民の皆様の防災に対する関心の高さが伺えました。

災害は日頃からの準備が重要ですので、引き続き家庭や地域での防災に対する取り組みをお願いいたします。

**【消防本部 予防課】**

私たちの住むこの国は、とても地震が多い国です。これまでもたくさんの大地震が発生し、多くの方々が地震の被害に遭っており、私たちは大地震が発生するたびに悲しい思いをしてきました。

しかし、大地震から学ぶことも多く、今までも数多くの悲しみの中から数々のことを学び、教訓としてきました。

これからも“自分の身は自分で守る”という考えを基本として十分な危機感を持ち、災害が発生した時のための話し合いや非常持ち出し品などの準備を普段から備えていただきたいと思います。

「災害は、いつか来るとは思っていたが、今日来るとは思わなかった」とならないためにも・・・

問 18 防災・減災に関するお考えや、効果的と思われる取り組みなどがありましたら

ご記入ください

(71件)

自由記述	
<p>実際に起こった場合の市の対応はできません。言い訳ばかりです。このアンケートはどのように政策にいかすのですか？ 前回の水害のときの実感です。</p>	(80代 男性)
<p>平日は都内に通勤している。平日日中に災害発生した際における、学校・保育園との連絡手段について、整備・広報の強化を検討してもらいたい。現実的に、保護者はスマートフォンをデバイスとして最頻利用している人がマジョリティなわけであり、このマジョリティをベースに強化策を練っていくべきではないか。その他、不所持家庭があるならば、そこへ別途対処していくことでも、結果として最速・最小工数になるのではと考える。</p>	(30代 男性)
<p><b>【市民安全課 回答】</b> 貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>	
<p><b>【保育課 回答】</b> ツイッターや facebook などの SNS を活用し、インターネットから随時最新の情報を更新しています。今後も他の方法がないか検討していきます。</p>	
<p>戸建て住宅の感震ブレイカーに市の補助金を出し、取り付けを促進してほしい。ブレイカーは普通高所にあり緊急避難時に手動で対応することは難しいので。</p>	(70代 男性)
<p>被害状況、避難情報などはツイッターを有効活用してほしい。情報弱者への情報伝達は地区の班制度を活用したい。日頃は付き合いが薄くても、いざというときには隣近所が頼りになるはず。</p>	(50代 女性)
<p><b>【市民安全課 回答】</b> 現在、情報の伝達手段としてツイッターも活用しています。正確な情報収集が行えるよう、防災行政無線や Facebook 等もご活用ください。</p>	
<p>寿2は道が狭く、行き止まりも多い。消防車が曲がり角で、時間をかけて曲がっているのが心配。行き止まりの解消に空き家が出た時は、市での購入を検討してほしい。</p>	(40代 女性)
<p><b>【消防本部 西消防署 回答】</b> 狭隘道路においては、日々変化していくなかでも警防調査等で把握していくものですが、災害状況に応じて部隊運用することから、進入する場合としない場合が発生いたします。消防隊としては、ご不安をかけさせない運用で取り組んでいきたいと思っております。</p>	
<p>防災訓練</p>	(60代 男性)
<p><b>【市民安全課 回答】</b> 災害からの被害を減らすためには、防災訓練は非常に有効です。ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。</p>	
<p>各家庭の家を訪問して、正しい地震対策がなされているか、専門家にみてもらう。また、近所の方と避難場所に行く訓練や、このお家はお年寄りひとりだとか、実際にみんなで顔合わせしてみる。</p>	(30代 女性)
<p>地域において一人一人に災害を認識していただくこと。</p>	(60代 男性)
<p>・市や自治会で防災訓練や説明会が行われているのか知りません。この春に川村女子学園の校庭で合同訓練がありましたが、それはガス水道電話電気会社のもので、市民が参加して行うものではありませんでした。防災についての訓練や説明会を市あるいは、自治会等で企画してほしいです。 ・熊本地震の様子から、我孫子に万が一災害が起こった時は、特に妊婦や赤ちゃんに対する対策を考えてほしいと思いました。</p>	(60代 女性)
<p><b>【市民安全課 回答】</b> 市では対象地域の自治会向けに、総合防災訓練の説明会を開催しております。また、妊婦や乳幼児も含めた避難行動要支援者の避難支援計画を策定し、対策を進めています。</p>	
<p>自治会活動を通じて知りうることは、自助・共助に対する認識の甘さや、公助に対する過剰な期待を感じる。行政の仕事として、災害時の行動に関する広報活動を積極的にしてほしい。</p>	(70代 男性)
<p><b>【市民安全課 回答】</b> 引き続き自助・共助・公助が連携した地域防災力向上の施策を、積極的に推進していきます。</p>	
<p>学校や会社で避難訓練を抜き打ちで行う。</p>	(30代 女性)

<p>災害時に停電した時にTVは不可。避難所の誘導、案内、災害状況等に市の防災無線が使用できるのか？（自家発電対応しているのか？）</p> <p style="text-align: right;">（70代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          避難情報、避難所の開設等の情報伝達は防災行政無線にて行います。その他、ホームページ、Facebook、ツイッター、メール配信サービス、テレホン案内で情報伝達を行っていますのでご活用ください。</p>
<p>日頃からの隣近所の交流が必要だが、挨拶すらかわさない人達がいることが不安。</p> <p style="text-align: right;">（60代 女性）</p>
<p>避難経路や避難所の設置体制、備蓄など確認など確認しておく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">（30代 女性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          「あびこ防災マップ」等を活用いただき、日頃からの備えをお願いいたします。</p>
<p>日頃から地域の方と顔見知りになっておき、交流しておく。情報交換をしておくことは大切だと思う。</p> <p style="text-align: right;">（30代 女性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>他市の避難場所の学校ではホームページに災害に対する取り組みと称して学校に備蓄されている水や食糧や毛布等の数が書かれていた。又災害時の市との連絡方法も記載されていたが今後は避難所の安全はもちろん備蓄にも力を入れた方が良いのではないかと思う。</p> <p style="text-align: right;">（30代 女性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          備蓄食料は、市の計画に基づき12万食を備蓄するよう整備しています。また、食料以外の備蓄につきましては、トイレや毛布、女性専用物資などを備蓄しています。今後も計画的に備蓄を進めてまいります。</p>
<p>日頃の訓練と考え方が大切。          避難訓練は大きな範囲でやるべき。小学校と保育園、その周りの住民でやった方が良いと思う。マンション群とその周りの一軒家など。人の流れや誰が中心になり、確かな情報をどのように流すか。熊本地震で起こった事は他人事ではない。</p> <p style="text-align: right;">（40代 女性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          災害からの被害を減らすためには、防災訓練は非常に有効です。複数の自治会が合同で実施するなど、地域での積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>防災訓練、行政の教育、正確な行政からの情報</p> <p style="text-align: right;">（70代 男性）</p>
<p>近隣とのつながりが薄いので、コミュニケーションを取りたいが、中々機会が無い。自治会も形式に拘りが強い様に感じられ、気軽に参加出来る環境に無いので、難しい。良い方法が無いか？模索中です。</p> <p style="text-align: right;">（50代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>向こう三軒両となり。日ごろからの近所付き合いが大事です。避難所に行くことになってもしらない人が隣にいるより安心度が違うはずです。</p> <p style="text-align: right;">（60代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>食料だけでなく、テントやガスコンロなどキャンプ道具が必要。</p> <p style="text-align: right;">（40代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          家庭での備蓄は、食料や下着等の「非常備蓄品」のほかに、タオルや懐中電灯などすぐに持ち出せる「非常持出品」を保管し、その所在を明確にしてください。今後も備蓄についての周知に努めていきます。</p>
<p>防災訓練時宣伝カーなど利用して地域みんなに参加を呼びかけ、一人でも多くの住民が参加して防災意識を高める環境をつくる。</p> <p style="text-align: right;">（70代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          貴重なご意見ありがとうございます。多くの方が訓練に参加していただけるよう工夫していきます。</p>
<p>井戸</p> <p style="text-align: right;">（40代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          市では、災害対策用井戸や簡易型防災井戸、災害用協力井戸の整備・拡充を進めています。</p>
<p>学校の体育館などでの避難訓練（一泊宿泊で）。</p> <p style="text-align: right;">（70代 男性）</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b>          平成26年度より、各小学校ごとに避難所運営訓練を実施していますので、ぜひご参加ください。</p>

避難訓練 【市民安全課 回答】 災害からの被害を減らすためには、防災訓練は非常に有効です。ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。	(30代 女性)
小さい子供がいる場合、そのような親子こそ防災意識の向上が必要であるのに対して、訓練や説明会等のやや長い時間のイベントに子連れは参加しにくい。芸能人や人気キャラクター等と呼んだ防災イベントは親子で参加しやすく、子供も飽きることなく学べるため効果的であると思う。	(30代 男性)
【市民安全課 回答】 貴重なご意見ありがとうございます。多くの方が訓練に参加していただけるよう工夫していきます。	
飲料水等の備蓄を強烈に勧める。2週間くらい自分で生き延びる工夫をしろ！と理解させる。	(60代 男性)
【市民安全課 回答】 備蓄の重要性については、今後も周知していくように努めていきます。	
NHKで「ストップ詐欺被害」を執拗に放送していますが、同様に、市の広報等で押さえておくべきポイントを執拗に掲載して注意喚起し続けることが有効な対策になるかもしれません。	(60代 男性)
防災無線が、風向きにより聴こえづらい時がある。	(40代 女性)
【市民安全課 回答】 無線放送は、地形や風向きの影響、気密性の高い建物や高層建築物の増加などによって、聞こえにくい場合があります。今後も、聞き取りやすい放送を念頭に置きながら、改善に努めていきます。 また、聞き取りづらい場合の対応として、無料のテレホン案内、メール配信サービスをご利用いただきますようお願いいたします。	
利根川が近くにあるので、鬼怒川の事があり、堤防の強化と広範囲に広がらないように遮断又は地下水路など、より一層の強化をしていただきたい。	(50代 男性)
過去の事例を元に問題点を洗い出し、ノウハウを蓄積していく	(40代 女性)
【市民安全課 回答】 我孫子市地域防災計画は、過去の災害の経験を活かし作成しています。今後も、必要に応じて見直しを図っていきます。	
抜き打ち訓練	(40代 男性)
地域での助け合い。自治体や自衛隊の助けを待っている間に出来ることがあると思う。自分の家庭が大丈夫でも健康体の大人が弱者の助けをするべき。 地域で避難場所を決め安否確認をする、避難時の手助け、自治会館や対象避難場所に備蓄するなど。	(30代 女性)
【市民安全課 回答】 災害時は、自分の身は自分で守る自助や、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。	
自分だけが被害に遭っている、と思わないこと。	(70代 男性)
【市民安全課 回答】 災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。	
自分自身のことと考えて準備する	(60代 女性)
【市民安全課 回答】 災害時は、自分の身は自分で守る自助や、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。	
水や食料などの備蓄品の共同購入	(60代 男性)
【市民安全課 回答】 水、食料については、保管する場所の問題等もありますので、各家庭で3日以上のご備蓄をお願いいたします。	
普段の近所付き合い	(30代 男性)
【市民安全課 回答】 災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。日頃から積極的な取り組みをお願いいたします。	
避難場所をさらに多く設置することで、避難までの経路が短くなったり、危険箇所を回避できることにより、避難途中での被災が減ると思います。	(40代 女性)
【市民安全課 回答】 市が指定する緊急避難場所以外でも、地域において同じ役割を担う場所を事前に決めておくことも有効です。地域における積極的な取り組みをお願いいたします。	

<p>大災害が起こったときの避難所は決めておいたほうがいいと思います。防災放送も準備しておいたほうがいいと思います。 (40代 女性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> お近くの避難所は、「あびこ防災マップ」でご確認ください。 なお、避難情報につきましては、防災行政無線で住民の皆さんにお知らせいたします。</p>
<p>日頃の準備を怠らない。 (60代 男性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>避難場所について、自治会等で周知されていないので、意識的にやるのがベターと思う。 (60代 男性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 自治会等が実施する防災訓練において、避難誘導訓練を実施するなど、積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>非常時の備えについて、近眼、老眼等でメガネ常用者は予備用を1ケース眼鏡ケースに入れ常備して置く。就寝時に遭遇した時などメガネなし避難を防ぐ。 (70代 男性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 災害の備えは、非常に重要ですので、備蓄に対して積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>先日起きた熊本地震について、NHKの特集番組を観ました。 障害者、乳幼児を優先させるべき避難場所には、結局近隣の住民〔健常者〕が避難してきており、障害者の受け入れが困難であると知りました。 我孫子市も細く避難場所が設定されていることは知っていますが、実際災害が起きるとこれと同じことが起きると感じています。具体的な対策が必要だと感じました。 (30代 男性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 高齢者や障害者、妊婦、乳幼児も含めた避難行動要支援者の避難支援計画を策定し、福祉避難所の指定などの対策を進めています。</p>
<p>市の防災行政無線 (20代 女性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 防災行政無線放送は、地形や風向きの影響、気密性の高い建物や高層建築物の増加などによって、聞こえにくい場合があります。今後も、聞き取りやすい放送を念頭に置きながら、改善に努めていきます。</p>
<p>避難訓練を訓練と思わず本番と同じようにしてみる。そうすると見えない課題が見えてきて、それについて話し合えるし準備も出来る。 (30代 女性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 実践的な避難誘導訓練は、非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>車でのお出が多い為、外出中に被災した場合を考え、車にも非常食や飲料水を備蓄しておくべきと聞き、うちでも早めに対策したいと思います。 (20代 女性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。</p>
<p>年寄りが多い地域で近所での助け合いが必須だが自分の身は自分で守るという意識をしっかりと貰うように役所としても啓蒙していくべきだと思う。自ら予めご近所に手助けをお願いして置くなど。 (70代 男性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 災害時は、自分の身は自分で守る自助や、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。また、市でも積極的に啓発していきます。</p> <p><b>【高齢者支援課 回答】</b> 市では、身近な地域で高齢者やそのご家族がお困りごとの相談をできるよう、「市役所高齢者支援課内」、「我孫子地区」、「天王台地区」、「湖北・湖北台地区」、「布佐・新木地区」の市内5カ所に高齢者なんでも相談室を開設しています。そのなかで、地域の見守り活動等の支援も行っていますが、ご自身で「自分の身は自分で守る」意識は非常に大切です。高齢者支援課では地域の見守り活動を支援していくなかで、市民の方への意識の啓発にも努めていきます。</p>
<p>いざなってみないとわかりません。 (50代 男性)</p>
<p>つくし野地域では年1回訓練を行って、地域のつながりを確かめています。 (60代 女性)</p> <p><b>【市民安全課 回答】</b> 引き続き、積極的な取り組みをお願いいたします。</p>



生産・流通の発達した日本国の状況からして、過剰な防災備蓄は不要と思っている。	(70代 男性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 必要な食料や生活必需品を日頃から備えておくことは重要です。各家庭での備蓄の取り組みをお願いいたします。	
各自治会で、非常食や日用品等の保管がされているか知りたい。	(50代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 各自治会での備蓄につきましては、それぞれの自治会で品目が異なると思いますので、自治会にお問い合わせください。	
昔配布された防災に関するマップや手紙等は、今は持っていない人も多い。防災意識が高まっている今だから、もう一度配布して欲しい。もしくは、定期的に配布して欲しい。	(30代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 防災マップ、洪水・浸水ハザードマップは、作成時にそれぞれ全戸配布しています。紛失した場合等は、お近くの行政サービスセンター等でお受け取りください。	
消火器や食料の備蓄など、意識すればすぐできることは、きちんとやろうと思います。	(30代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 必要な食料や生活必需品を日頃から備えておくことは重要です。各家庭での備蓄については、防災マップ等を参考にしてください。	
震災があるとやらなくてはと考えるが、行動に移せていない。幼稚園、小中学校などでも教えて家族に伝えたり家族で話し合えるきっかけになることが必要かもしれません！	(30代 女性)
<b>【消防本部 西消防署 回答】</b> 消防署への庁舎見学、職場体験や各施設での自衛消防訓練等の機会を活用して、子供へも災害への対応や準備などを伝えて、家族会議になるように促していきます。	
災害時、町内に避難誘導をしてくれる人がいると、外出時でも少し安心できる。	(40代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。日頃から積極的な取り組みをお願いいたします。	
もしものときにパニックにならないよう、子どもたちにも日頃から災害の知識をつけておきたい。その思いもあり、先日友人らとともに池袋の防災館で煙体験や地震体験に参加しました。マンションの防災訓練でも、時々煙体験や消火器体験を実施することがあります。やはり経験を重ねることが効果的かと思います。	(30代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 災害からの被害を減らすためには、防災訓練が非常に有効です。引き続き、積極的なご参加をお願いいたします。	
日頃意識しておくこと	(30代 男性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。	
雨水の貯水タンクを設置していますが、非常時のトイレなどの水になると思います。	(30代 女性)
常に気象状況の把握	(80代 男性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 市では、ウェザーニューズ㈱と契約して気象情報の収集を行っています。今後も引き続き、気象情報の収集を行い、積極的に活用していきます。	
基本的には、食料や水は各家庭で備え、自治体では各家庭それぞれ必要になるほどでもないもの（はしごやバールなど）を備えることができればいいと思っています。自治会の防災力強化・災害に対応する備品を充実させること（食料以外の設備等）・防災井戸の充実	(40代 女性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 自助・共助・公助が連携した地域防災力向上の施策を、積極的に推進していきます。また、防災井戸につきましても、災害用協力井戸の整備・拡充を進めていきます。	
我孫子市は居住場所により、水害・がけ崩れ等種々異なる災害が予想されるので、地区ごとに防災訓練の内容の工夫が必要だと思います。また万が一に備え、市防災ネット配信サービス（携帯）への加入率UPの対策が必要だと思います。	(60代 男性)
広報車による定期的巡回放送（うるさいと言う人が居るかも知れないが、日頃からの備えになる）	(60代 男性)
<b>【市民安全課 回答】</b> 災害時には、防災行政無線や広報車による巡回も含め、様々な手法を活用した広報活動をおこなっていきます。	
<b>【消防本部 西消防署 回答】</b> 特異気象や警戒が必要な事象がある場合は、消防車による巡回広報を今後も継続して実施していきたいと考えます。	



家の中のことになってしまいますが、背の高い家具は置かないようにし、地震の際避難経路をふさがれないように家具を配置しています。また、もし地震が起きたらまず子供達をどこに潜らせるかや、ガスの元栓・ブレーカーを落とすことなど、シミュレーションはしています。

(30代 女性)

**【市民安全課 回答】**

災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。

地域のつながり、自治体のつながり、ご近所付き合い、日頃からの声かけなどが、重要だと思います。防災無線が聞こえにくいので、防災無線のスピーカーなど、設置の場所を増やすとか地域全体が聞こえるようにすることが重要だと思います。

(50代 女性)

**【市民安全課 回答】**

防災行政無線放送は、地形や風向きの影響、気密性の高い建物や高層建築物の増加などによって、聞こえにくい場合があります。今後も、聞き取りやすい放送を念頭に置きながら、改善に努めていきます。

また、聞き取りづらい場合の対応として、無料のテレホン案内(0120-031676)、メール配信サービス(我孫子市ホームページから登録可)をご利用いただきますようお願いいたします。

水の備蓄、食料備蓄、ラジオ備置をしつこく広報する。

(60代 男性)

**【市民安全課 回答】**

災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。市でも積極的に周知していきます。

地域の人との関わりを増やすこと

(20代 女性)

**【市民安全課 回答】**

災害時は、地域のつながりである共助が、非常に大切です。日頃から積極的な取り組みをお願いいたします。

災害の種類や状況より 対応策が異なる為 いろいろ考えて備えようと思いましたが、難しいです。

行政には 個人では どうしようもない 衛生 治安 ライフラインの確保をのぞみます。個人での備えを 具体的にアドバイスをお願いします。東京都で出している防災冊子は 一応目を通しました。

(60代 女性)

**【市民安全課 回答】**

災害からの被害を減らすには、日頃からの準備が非常に有効です。個人の備蓄例については、防災マップや市のホームページ等をご参考にしてください。

各人ができることに取り組む

(60代 女性)

**【市民安全課 回答】**

災害時は、自分の身は自分で守る自助や、地域のつながりである共助が、非常に大切です。積極的な取り組みをお願いいたします。

防災訓練の方法に緊迫感がない。避難場所までの歩行や、高齢者の避難方法に「参加すれば良いだけ」の感覚あり。避難所までの経過時間の確認・幼児・高齢者の人数把握等するべきだ。

(70代 男性)

**【市民安全課 回答】**

実践的な避難誘導訓練は、非常に有効です。積極的な取り組みをお願いいたします。

自然災害は、自然条件と自然現象と人間生活の組み合わせで発生する。ならば最適な防災は、そこで生活しないこと。地震や津波が発生しやすい土地で、大地震や大津波が起きても、その影響が及ぶ範囲で生活してなければ、災害にはならない。又、自然災害による二次的甚大な影響を及ぼす原発近隣への住居は避け、大元の原発を廃炉すべきは一大事緊急のことと思われる。

(50代 男性)

まず私たちは、戦後最悪の被害をもたらした東日本大震災での教訓を忘れてはいけないと思います。防災対策は、一市町村では限界があります。隣接する柏市や東葛地区はもちろん、千葉県との連携は必要不可欠です。千葉県には、総務防災常任委員会があり、県外調査で石油備蓄基地や原子力発電所などの防災についての視察を行っています。特に原子力発電所を見学されて、防災は充分だと感じたのか否かの感想をお聞きしたいです。

(50代 女性)

**防災についての話し合いの要点**

- 1 非常脱出口の確保など、身の安全に関する事
- 2 非常持ち出し品の準備、避難地までの順路の確認など、避難するときのテクニック
- 3 消火器の正しい使い方などの習得、冷静に火災を防ぐこと
- 4 正しい情報の入手方法
- 5 軽いけがの処置など、協力して行う応急救護の方法
- 6 地域住民等で協力して行う救出活動の方法
- 7 避難前の安全確認
- 8 家族や近隣の人の安否を確認する方法
- 9 周囲の危険箇所の確認
- 10 行政や消防署の役割、自分たちでできることの確認